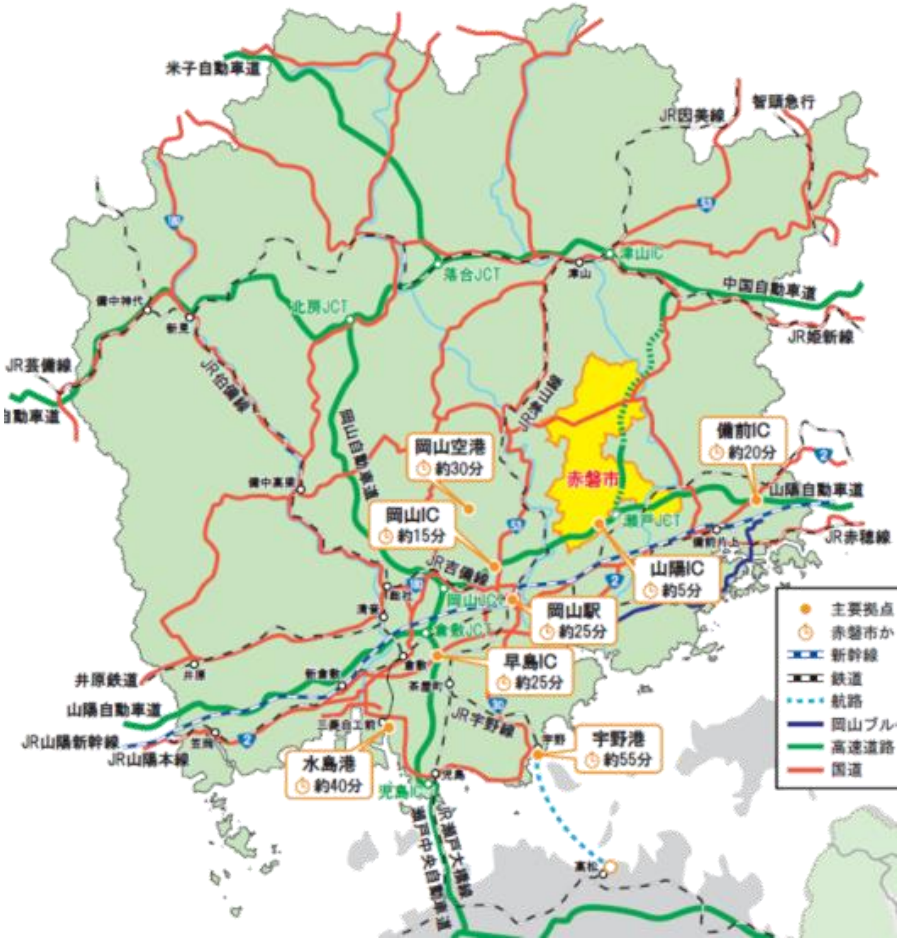
赤磐市における地域商社選定までの道のり

赤磐市
産業振興部　農林課

平成２９年7月２５日

赤磐市の紹介



- 岡山県南東部、岡山市に隣接する人口約４万３千人の田園都市。
- 人口の半数は、大規模な住宅団地に居住。
- 果樹（桃・ぶどう）・酒米（雄町米）が特産品。
- 東洋経済オンライン「住みよさランキング２０１７」で、２年連続岡山県内第１位。中国・四国地域第６位。

地域商の取組み支援の経緯

- 市内では品質の高い特産品（桃・ぶどう・雄町米）及びその加工品を生産しているが、県内を中心とした固定客への販売に依存。さらに生産者の高齢化や後継者不足により販売額は減少。
- このため県外（特に首都圏）や海外への新たな販路の開拓を行っていくことが必要。
- 平成２７年度に策定した地方創生総合戦略の強い農業の確立プログラムの柱の一つとして特産物のブランド化をはかり、販路開拓を担う地域商社の設立を位置づけ。
- 地域のＪＡ、生産者、直売所関係者の意見も聞きながら、市が地域商社として支援する民間事業者を公募することになった。

ここまでは、前回と同じ内容です。

ここからは、地域商社に取り組まれる行政の皆さんが本当に知りたいことをお話します。

最初の課題について

どうやってプレイヤーの募集をしたらいいのか？

↓

市のＪＡ、農業士等で構成される「経営・生産推進会議」の委員の人に考えを聞いてみよう。

↓

しかし、皆さん「地域商社」という言葉さえも聞いたことがない。
「地域商社」とは何それ？

↓

それなら「地域商社」について詳しい誰かに聞いてみよう。

まず手始めにいろんなコネを利用して

「地域商社」とはどういったものかを生産者の方々に知ってもらいたく内閣府の専門家（村上参事官）に相談。講演会にて全国の「地域商社」について事例を交えてとてもわかりやすい説明をしてもらいました。

直接話を聞いてみて

講演会には多くの生産者・産直の経営者・市議会議員など、多くの方に集まっていただき地域商社に対する理解を得ることができたと思われました。

しかし、市議会では・・・やはり、

・地域商社って何？
・地域商社は何をしてくれるの？
・誰が地域商社を運営するの？

毎月行われる担当の常任委員会の場で「強い農業確立プログラム」に基づいた計画を進めていく上では、必ず必要になってくる組織であることを粘り強く説明。

・大半の方々は、地域商社の意義について理解を深めている。

しかし、まだまだ「地域商社」の主旨や目的等に理解を得られない方々も・・・・

赤磐市経営・生産推進協議会では・・・

いきなり熱い洗礼を受ける
ある農業団体の委員さんから「今までうちがやってきたことと重複するじゃないか！」とのご意見

しかし一方で若手生産者から「新たな販路を見つけることができて、選択肢が増えるのはとても良いことだ」とのご意見もあり

計３回の推進協議会を開き、問題点を整理し時には、熱い議論を重ねることにより主旨等に理解を深めてもらう結果を得られた。

赤磐市経営・生産推進協議会とは
赤磐市での農業政策の方向性を協議する場所です。

最近の状況

Ｈ28.12にプレイヤー（事業者）が決定

地域商社による事業の説明を経営・生産推進会議にて実施することにより事業者の目的等が明確になり、地域から期待する声も聞こえるようになってきた。

現在、赤磐市としては、特に必要な条件設定を行うことなく、事業者の作成した事業計画に基づく事業の進捗を見守っている状況です。

以上で、赤磐市の苦労話は終わりにしたいと思います。

この先の詳しい話を聞きたい方は、後ほどの懇親会にてお気軽にお声かけください。

ご静聴ありがとうございました。